

令和 8 年 5 月 2 9 日	病害虫発生予報 6 月 号	茨城県病害虫防除所
---------------------	------------------	-----------

ナ シ

1. 黒星病

[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
—	平年並～やや多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 5 月下旬現在、葉における発病率（本年値 0.1%、平年値 0.2%）、発生地点率（本年値 10%、平年値 16%）ともに平年並である。
- ② 5 月下旬現在、果実における発病率（本年値 0.3%、平年値 0.3%）、発生地点率（本年値 25%、平年値 24%）ともに平年並である。
- ③ 気象予報によると、向こう 1 か月の降水量は平年より多いと予想され、発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

- ① 発病した葉および果実等は二次伝染源となるため見つけ次第除去し、園外に持ち出して適切に処分する。
- ② 薬剤散布は、発病部位を除去した後にを行うとより効果的である。
- ③ 薬剤は、10a 当たり 300 リットルを目安に丁寧に散布する。圃場の周縁部等、薬液のかかりにくい部分に対しては、手散布等により補正散布を行う。

(ナシ 続き)

2. ナシヒメシンクイ（第二世代幼虫）

[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
やや早い	やや多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 5 月中旬現在、第一世代成虫の発生時期は、越冬世代成虫のフェロモントラップへの誘殺最盛期と有効積算温度から、平年よりやや早いと予測される。
- ② 5 月第 3 半旬までのフェロモントラップへの総誘殺数は、小美玉市では平年より多く、笠間市、筑西市（下館地域）ではやや多く、筑西市（関城地域）、土浦市では平年並、かすみがうら市では平年並～やや少ない。

[防除上注意すべき事項]

- ① 今後、第二世代幼虫が発生するため、下記の防除所レポートを参考に適期防除に努める。
- ② 薬剤は、10a 当たり 300 リットルを目安に丁寧に散布する。圃場の周縁部等、薬液のかかりにくい部分に対しては、手散布等により補正散布を行う。

防除所レポート [ナシヒメシンクイの防除適期の予測]

- ① ナシヒメシンクイ第二世代幼虫を対象とした防除適期は、第一世代成虫の誘殺数がピークに達した日の7～9日後である。
- ② 各地点の第二世代幼虫の予測防除適期（表）は、平年よりやや早い。
- ③ 表中のかすみがうら市、土浦市、筑西市（下館地域）については、今後、病害虫防除所ホームページで誘殺状況を随時更新するので参考にする。

表 調査圃場におけるナシヒメシンクイ第二世代幼虫の予測防除適期

地点	第二世代幼虫の予測防除適期 ¹⁾		
笠間市	6月17日	～	6月20日
小美玉市	6月12日	～	6月15日
石岡市	6月12日	～	6月17日
かすみがうら市	6月12日	～	6月17日
土浦市	6月9日	～	6月13日
筑西市（下館地域）	6月9日	～	6月12日
筑西市（関城地域）	6月11日	～	6月14日

1) 第一世代成虫の誘殺最盛期を基に予測した（5月29日現在）。

果樹共通

1. 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 本年2月上旬に県内42地点で行ったチャバネアオカメムシ成虫の越冬調査では、越冬成虫数（本年値2.1頭、平年値2.3頭）は平年並、越冬地点率（本年値55%、平年値41%）は平年並～やや高い（令和8年3月25日発表 病害虫発生予報4月号 参照）。
- ② 5月第4半旬までのかすみがうら市の果樹園内に設置した予察灯へのチャバネアオカメムシの総誘殺数（本年値960頭、平年値130頭）は平年より多い。
- ③ 5月第4半旬までのかすみがうら市の果樹園内に設置した予察灯へのツヤアオカメムシの総誘殺数（本年値331頭、平年値29頭）は平年より多い。
- ④ 5月第4半旬までのかすみがうら市の果樹園内に設置した予察灯へのクサギカメムシの総誘殺数（本年値30頭、平年値1頭）は平年より多い。

[防除上注意すべき事項]

- ① カメムシ類の園内への侵入を防ぐため、多目的防災網（目合い6mmまたは9mmクロス等のネット）やサイドネットに破れがないか点検を行う。
- ② カメムシ類は夜温が高くなると活動が活発になり、果樹園に飛来する。果樹園内でカメムシ類を確認した場合は、活動の鈍い早朝に薬剤防除を行う。
- ③ カメムシ類の発生時期や発生量は地域や圃場によって異なるため、定期的に圃場全体を観察し、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。

（令和8年5月20日発表 病害虫速報No.3 参照）

今月の気象予報

関東甲信地方 1 か月予報

(予報期間 5 月 30 日から 6 月 29 日)

気象庁 (5 月 28 日 発表)

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >

[確率]

要素	予報対象地域	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	関東甲信全域	10	30	60
降水量	関東甲信全域	20	40	40
日照時間	関東甲信全域	30	30	40

[概要]

期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

< 1 週目の予報 > 5 月 30 日 (土曜日) から 6 月 5 日 (金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率 80%

< 2 週目の予報 > 6 月 6 日 (土曜日) から 6 月 12 日 (金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並または高い確率 40%

< 3 週目から 4 週目の予報 > 6 月 13 日 (土曜日) から 6 月 26 日 (金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率 60%

農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬の「ラベル」と登録変更に関する「チラシ」等を必ず確認し、適用作物、使用方法、注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には、周辺作物に飛散（ドリフト）しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 薬剤抵抗性の発達を抑えるため、作用機構分類（FRAC コード、IRAC コード）の異なる薬剤を用いてローテーション散布しましょう。
- 5 農薬の使用後は、散布器具やホース内等に薬液が残らないように良く洗浄しましょう。